



遊牧のチャラパルタ ～バスク幻の伝統打楽器奏者オレカTXの旅～

TUFS Cinemaとは……

東京外国語大学TUFS Cinemaは、映画を通じ、世界の諸地域における社会・歴史・文化の理解を深めることを目的として行われています。このバスク映画特集では、3週連続で計3本の映画が上映されます。特集のサブタイトルは「リズム・インプロヴィゼーション・ダンスの魅力」となっていますが、この作品からは、とくにリズム(律動・旋律)と楽曲の魅力が見て取れることでしょう。



上映日時 2023年

12月1日(金)

18:15上映開始(開場18:00、終了予定20:45)

場所 東京外国語大学

アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール

(東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分)

プログラム

映画『遊牧のチャラパルタ ～バスク幻の
伝統打楽器奏者オレカTXの旅～』本編上映

上映後解説 / トーク

萩尾生 (東京外国語大学教授)

ガリ・オルティゴエサ (東京外国語大学非常勤講師)

主催 東京外国語大学 TUFS Cinema

後援 エチエパレ・バスク・インスティテュート

協力 株式会社ブランクトン

東京外国語大学多言語多文化共生センター

入場無料

事前登録制 ▶▶▶

(先着500名)



<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc231201form/>

※事前登録がなくてもご来場いただくことは可能ですが、会場入口で参加登録をさせていただきますので、事前にご登録いただくとスムーズにご入場いただけます。定員を超える場合は、事前登録を済ませた方を優先させていただきます。

[お問合せ]

東京外国語大学 広報・社会連携課
(TUFS Cinema担当)

TEL 042-330-5441

(平日9:00-17:00)

詳細は TUFS Cinema ウェブサイトにて

<https://www.tufs.ac.jp/tufscinema/>



EUSKADI JAPAN
日本 バスク州2023

150th anniversary TUFS
東京外国語大学
建学150周年
記念事業

上映日

2023年12月1日(金) 18:15 上映開始 (開場18:00、終了予定20:45)

バスク映画特集 (1) リズム・インプロヴィゼーション・ダンスの魅力

遊牧のチャラパルタ

～バスク幻の伝統打楽器奏者オレカ TX の旅～

監督 ラウル・デ・ラ・フエンテ
 脚本 アルカイツ・マルティネス・デ・サン・ピセンテ(オレカTX)
 イゴル・オチョア(オレカTX) パブロ・イラブル ラウル・デ・ラ・フエンテ
 撮影 ラウル・デ・ラ・フエンテ
 音楽 オレカTX ほか
 製作 イゴル・オチョア(オレカTX)
 出演者 オレカTX ミケル・ラボアほか

チャラパルタとは、かつてその奏者が途絶えかけたことのあるバスクの伝統打楽器のことだ。「オレカTX」と名乗る2人組みのバスク人奏者は、そんなチャラパルタを携え、異郷の自然文化環境の中にあえて飛び込む旅に出る。そして、インドの被差別民、北極圏のサーミ人、西サハラのパルベル人、モンゴルの遊牧民など、辺境に生きる「ノマドの民」の音楽と向き合い、対話し、解け合っていく。それは自分たちの音楽のルーツを振り返るとともに、新たな音とリズムの可能性を探し求める旅でもあるのだ。

2006年/スペイン/86分/バスク語ほか/日本語字幕/原題:Nómadak TX
 受賞歴 サン・セバスティアン国際映画祭CICAE部門賞(2006年)ほか多数



本作について

バスクの2人組みチャラパルタ奏者「オレカTX」の放浪をドキュメンタリータッチで描いた秀作である。

チャラパルタとは、何の変哲もない数本の木板を2人の奏者がばちで撞くように叩く、ミニマルなバスク伝統打楽器を指す。かつては伝達通信手段に用いられていたらしい。20世紀半ばに奏者がおよそいなくなったこの楽器は、いまでは再生・復興し、和太鼓との共演を含め、世界中に音を鳴り響かせている。

本作からは、過去の伝統を尊重しつつもそこに固執せず、外界の多彩な要素に触れて新たな可能性を模索する「オレカTX」の瑞々しい感性が、音と映像を通して伝わってくる。

オレカorekaとはバスク語で《釣り合い》を意味する。原題のNómadak TXとは《ノマドの人びと》のことだ。TXはチャラパルタtxalapartaの頭文字である。(萩尾 生)

バスクのことを学んでみよう! ~書籍紹介~



『現代バスクを知るための60章』
 【第2版】
 萩尾 生・吉田浩美 (編著)
 明石書店 (2023年6月刊行) 本体2,000+税

内容の紹介

スペインとフランスにまたがるバスク地方。独特の言語や文化が注目されてきましたが、スペイン・フランスからの分離独立を求めた武装組織の解散(2018年)後は、飲食(ガストロノミー)、観光、文化・芸術、研究開発イノベーションなど多方面でのグローバルな存在感を急速に高めています。2012年の初版以後の重要事象を新たに書き下ろし、情報更新を図った改訂増補版です。

上映後解説/トーク

萩尾 生 (東京外国語大学教授)
 ガリ・オルティゴース (東京外国語大学非常勤講師)

会場

東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
 (東京都府中市朝日町3-11-1)

お問い合わせ

東京外国語大学 広報・社会連携課 (TUFs Cinema担当)
 TEL 042-330-5441 (平日9:00~17:00)
 Email tufscinema@tufs.ac.jp
 Facebook: @tufscinema.pr
 X(Twitter): @tufscinema



入場無料/事前登録制(先着500名)

<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc231201form/>

交通アクセス



- ◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分(JR新宿駅から約40分)
- ◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車